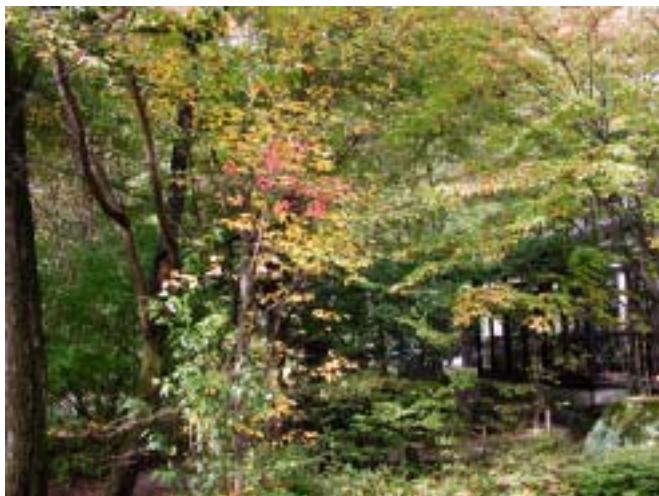


爽やかな秋



10月中旬になって各地で続いていた夏日がやっと収まりましたが、さすがにハケ岳南麓は爽やかな秋です。東京が曇りや雨の時も小淵沢は晴れていることが多いのです。



裏庭の山栗



ちゃわんたけ

緑茶で作った新作

虫の音を楽しむのは日本人だけと言うのをどこかで聞いたことがあります、そんな繊細な私たちにこそ分かるのがお茶の味です。なじみ深いお茶の味と青々しく甘酸っぱい香りでさくらんぼ・白桃・青りんご に仕上げました。お茶は中蒸しタイプで少し黄味がかった水色です。適温は80 ぐらい。沸騰後、少し冷ましてから注いで下さい。抽出は4分近く…あまり渋くなりません。カテキン効果をそのままとりこんで、爽やかで美味しく、そして美容と健康にぜひお試しあれ。

ネットでオンラインショッピングが出来ます
<http://www.nns.ne.jp/ent/mavie/>

RK-01 さくらんぼ緑茶



甘酸っぱいもぎたての香り

50g袋入り 765円 (税込)
100g袋入り 1,470円 (税込)

RK-02 白桃緑茶



甘くみずみずしい香り

50g袋入り 765円 (税込)
100g袋入り 1,470円 (税込)

RK-03 青りんご緑茶



青森の王林りんごの
青くさわやかなイメージ

50g袋入り 765円 (税込)
100g袋入り 1,470円 (税込)

秋のキャンドル 松ぼっくり



1個
(高さ7cm)

315円 (税込)

2個セットケース入り
(13.5×7×8) 630円 (税込)

エッグキャンドル



(高さ6cm) 525円 (税込)

草花の天使キャンドル



(高さ11cm) 630円 (税込)

スリランカに行ってきました



スリランカ（セイロン）の最新紅茶事情を知るために、各エリアの農園、生産工場、ティー・オーケーションや紅茶博物館、紅茶研究所、コロンボの紅茶局を8月に訪ねてきました。

2004年12月26日、インドネシア・スマトラ島沖でおきたマグネチュード9.0の地震による津波で大きな被害を受けた南東部の海岸はまだまだ完全に復興はしていませんでしたが、私たちに少しでもお手伝い出来ることはスリランカの紅茶をもっと日本で紹介することでしょうか。

スリランカの紅茶生産地は島の中央部から南部にかけて6大産地があり、エstateと呼ばれる大規模農園で行われています。セイロン紅茶は産地のある標高によってハイグロウン、ミディアムグロウン、ロウグロウンに分類されています。地域によって異なった気候条件のためにそれぞれ独特の個性をもっています。ハイグロウンは中央山岳地帯の標高1200m以上の高地で作られ、ウヴァ、ヌワラエリヤ、ディンブラ、ウダブセラワがあり、特にウヴァ(MV-11)は芳しい香りで水色も綺麗なオレンジ色、気品のある世界三大銘茶です。ミディアムグロウンは標高600m~1200m、キャンディー(MV-32)は柔らかで上品な香気を持ち渋味、タンニンが少なくしかも味にコクが有ります。クリームダウンしにくいのでアイスティに最適です。もちろんストレートも美味です。ロウグロウンは標高600m以下の茶園でルフナがあります。マヴィのルフナ(MV-31)はウルワラ農園からの紅茶です。黒に近い水色でスモーキーな香りがカスタードクリーム系との相性が良いので、ミルクと砂糖をたっぷり入れて飲むに向いています。マヴィにある3つのエリアの紅茶を飲み比べてみてはいかがですか。

澄んだ秋の空気の中でする乗馬は最高です。乗馬は全身運動。姿勢を良くしなければ馬に乗り手の意志は伝わりません。普段使わない筋肉を適度に使い、常歩、速歩、駈歩と歩様を変え、図形を正確に描こうと必死になります。汗びっしょりになります。乗馬をした後は腰がすっきりして快適です。平均すると二週に一鞍ぐらいしか乗ることが出来ませんが、普段の姿勢にも気をつけるようになって、確実にシェイプアップします。美脚にもなるそうですよ。小淵沢乗馬学校の先生の美脚がテレビで紹介されていました。確かに綺麗！(T.COZY)



摘んだ茶葉を乾燥・萎凋(萎らせます)



ローラーにかけ茶葉を揉捻し細かくします



篩いにかけ葉の選別をします



火入れをし醸酵させます



選別

ジェームス・テイラー

スリランカが紅茶の生産地として今あるのはジェームス・テイラーがコーヒーの木の病気によってコーヒー栽培が全滅していた農地にアッサム種の茶を植え付け、すさまじいほどの努力によって育成に成功したことに因ります。

ジェームス・テイラーの手による最初の茶園ルーラコンデラ(LOOLECONDERA)は1867年に設立されました。



ルーラコンデラのエstate・ボード



ジェームス・テイラーが住んでいたログキャビン跡

いつの時代にもその時に誰もしていなかったことを成し遂げるには才能と努力と運(タイミング)、そしてセンスが必要ですね。ですが、ジェームス・テイラーは成し遂げるために57才の生涯を独身で過ごし、紅茶の栽培と生産のことだけを考えていたそうです。後世で讃えられる人は生きているときには偏屈といわれる人が多いですね。